

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市在宅医療・介護連携推進会議 令和 8 年度 第 1 回連携体制等に関する部会		
事務局 (担当課)		在宅医療・介護連携支援センター 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 2 5 0 (直通) 医療政策課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 2 3 0 (直通)		
開催日時		令和 8 年 8 月 3 日 (月) 1 9 時 3 0 分～2 0 時 2 0 分		
開催場所		W e b 開催 及び ウェルネスさがみはら 3 階集団指導室		
出席者	委 員	1 2 人 (別紙のとおり)		
	その他	0 人		
	事務局	1 2 人 (在宅医療・介護連携支援センター所長、外 1 1 人)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		1 開 会 2 議 題 (1) 「入退院支援の手引き」の素案について 3 報告事項 (1) 在宅医療・介護連携事例等発表会について (2) アウトリーチ事例検討会について (3) 在宅医療・介護連携講演会について 4 そ の 他 5 閉 会		

議 事 の 要 旨

1 開 会

・委員の変更について

社会福祉事業団 小林委員の退任に伴い、長沢氏が委員に加わった旨、事務局より説明した。

2 議 題

(1)「入退院支援の手引き」の素案について

事務局より資料に基づき、説明した。

(梅澤部会長) ワーキンググループリーダーの斉藤委員からコメントなどはあるか。

(斉藤委員) ワーキンググループの委員は3次救急、2次救急、MSW、退院支援看護師、各施設の方々など、幅広いメンバーで検討している。

第1回は現状の課題や入院・入所時の困難な事を共有をさせていただいた。手引きの位置づけや誰を対象としているのか、ルールブックなのかガイドブックなのか、市の救急の逼迫する状況や円滑な救急医療を回すための取り組みなど、意見交換を行った。

第2回は第1回ワーキングの意見をもとに章立て構成を作成。第3回に向けて3～4名の小ワーキングで検討し、今回の素案になっている。手引きの位置づけや目的の明確化、経験年数を問わず市の連携や現状が分かる手引きとして、2次・3次救急の状況やプライマリーケア、在宅医療の情報、退院後サービスや体制が整わないことによる再入院の予防、地域のインフラを守ることができるような手引きになるようにと議論を重ねてきた。

このガイドブックをどのように活用するかについて、各職種の方が相談等で利用者に見せながら市の連携状況を説明できるよう、専門職種向けになっているが、費用などを示していけるようなものができればと意見をいただいた。

皆様からご意見をいただければと思っている。

(梅澤部会長) シートの作成に関し、E x c e l やワードの活用は非常に良い。医療に関しては電子カルテが非常に普及している。I Dでアクセスすれば必要なデータは入っている。残りの情報をこの用紙に入力すればかなりの省力になる。必要な医療行為について、チェックボックスは、介護保険では使っていない人が多い。チェックボックスを消して「無し」と書くなどの運用もできる。シートは自由度が高いものにしていただければ非常に良く、見る側も見やすい。Q Rコードは、歯科の訪問診療リストなどはかなりの頻度で変わる可能性があるので、どのくらいの頻度でアップデートするか

は考えないといけないと思う。

(伊藤委員) 入院時連携シートについて、居宅サービス計画書 1 ～ 3 表との表記があるが、地域包括支援センターでは書式が違うため、「居宅サービス計画書等」としていただけるとありがたい。

入院時連携シートと退院時連携シート両方に言えるが、利用者に対してどういうことに気を付けているか、どういった留意が必要なのかがアセスメントとしてあると思う。自由記載欄に盛り込まれるのかも知れないが、アセスメントのキャッチボールができるような仕組みになっていないと思う。次のバージョンや電子カルテ化の中で組み込まれればよいと思うが、医療機関や CM、地域包括支援センターとのキャッチボールができればよいと思う。

(杉谷委員) 連携シートについて、梅澤部会長の仰るとおり自由度があるのは良いと思うが、現病歴の枠が小さく、どのくらい書けば良いか悩ましい。書き方があるか。

(梅澤部会長) かかりつけ医は 4 ～ 5 つある。既往歴も多くあり、病歴すべてを書くときりがない。病院やクリニックでは、サマリーがあるかと思うので、概要は連携シートで確認し、詳細は別紙参照の記載でよいと思う。

A 4 判 1 枚で、5 分で把握できるシートが大事と思っている。

(斉藤委員) 入院時連携シート、退院時連携シートは書き方見本を付けようと考えている。伊藤委員の質問についてもそういった形で見ていただければと思う。いただいた意見を参考に検討していきたい。

(荒川委員) 資料 1 - 2 の入院時連携シートの担当 CW、担当 PHN、というのは行政との関わりを書くということでしょうか。

(斉藤委員) 保健師は行政でよいと思うが事務局はいかがでしょうか。

(事務局) CW については、行政の生活保護や障害の CW などを想定している。

(廣瀬委員) 病院協会で誤嚥性肺炎を日中に受け入れる医療機関の整備を進めている。病院協会のミーティングが 8 月 12 日にあり、一覧表の形にして作成できればと思っている。作成できた時にはこの手引きの後半のどこかに入れていただければと思う。メインは救急搬送適正化に向けた市内の取組のひとつである。

(土田委員) 入院時連携シートに入院日を入れてほしい。病院からも希望がある。

(松岡委員：高齢協) 良いシートで、特に意見は無い。

(田中委員) 入退院連携シートで口腔ケアというところがある。歯科の細かい情報としては、義歯の使用の有無、入院時、義歯を入れていないか、食形態はどうかを知りたい。枠の都合もあり直接聞けることでもあるので、口腔ケアの欄は何と書けば良いかと思った。

- (梅澤部会長) シート案に歯科情報は今のところ無い。考慮した方が良いかと思う。
- (澤野委員) 歯科の通院や訪問も増えている。枠の中に歯科医をいれた方が良いと感じた。ACP の項目は救急搬送時の本人・家族の意向をもう少し詳しく入れた方がよい。
- (梅澤部会長) かかりつけ医、現病歴、既往歴は簡単にしか書けないかと思う。
- (伊藤委員) 入院時、コンタクトレンズを入れているかも貴重な情報。意識を失っている時にコンタクトレンズを入れっぱなしということもある。
- (荒川委員) シートの作成者は介護関係者や CM 等とあるが、主に CM が書くシートと思ってよい。CM がいない時は誰が書くのか。
- (事務局) 基本的には CM に書いていただくことを想定しているが、地域包括支援センター、障害のワーカーなど必要に応じて幅広く使っていただきたいと考えている。CM がいない場合等でも必ず連携シートを作成しなければならないというものではない。
- (梅澤部会長) 入院は緊急の時が多いため、日頃から作成しておき入院時にリアルな直近の情報を追記するのが良いのかと思う。
- (梅澤部会長) 今日結論を得るものではないので、意見を参考に WG で進めていきたい。

3 報告事項

- (1) 在宅医療・介護連携事例等発表会について (資料2)
事務局より資料に基づき、説明した。
- (梅澤部会長) 申し込みの後に URL を後々送るような、メール添付ファイルなどで送っていただくようなかたちか。後々みれるのであれば拝見したい。
- (事務局) Web フォームで申込いただき、後日、記入していただいたアドレスに詳細をお送りする予定である。
- (2) アウトリーチ事例検討会について (資料3)
事務局より資料に基づき、説明した。
※質疑、意見なし
- (3) 在宅医療・介護連携講演会について (資料4)
事務局より資料に基づき、説明した。
※質疑、意見なし

4 その他

- (事務局) 9月11日(金)に在宅医療・介護連携推進会議の全体会を開催する予定。
資料など詳細は改めてご連絡させていただくが、第10期高齢者保健福祉計画についてご意見をいただく予定。

また、連携体制に関する部会は来年の1月に第2回の開催を予定してしている。
日程等は別途調整させていただく。

5 閉 会

※原則、審議と関係のない発言、単純な言い間違いなどを除き、発言者及び発言内容を記載する。

(別紙)

令和8年度 相模原市在宅医療・介護連携推進会議
第1回 連携体制等に関する部会 委員出欠席名簿

No.	氏 名	所 属 等	備考	出欠席
1	石川 和也	公益社団法人神奈川県看護協会相模原支部		出席
2	伊藤 憲秀	地域包括支援センター		出席
3	内田 善久	一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会		欠席
4	梅澤 慎一	一般社団法人相模原市医師会	部会長	出席
5	菊地 歳光	相模原市ホームヘルパー協会		出席
6	長沢 伸孝	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団		欠席
7	斉藤 正和	相模原市医療ソーシャルワーカーの会		出席
8	澤田 弘之	公益社団法人相模原市薬剤師会		出席
9	澤野 将文	相模原市介護老人保健施設協議会	職務代理	出席
10	下井 麻紀子	相模原市訪問看護ステーション管理者会		出席
11	杉谷 雅人	相模原市認知症疾患医療センター（連携型）		出席
12	田中 雄一郎	公益社団法人相模原市歯科医師会		出席
13	土田 陽子	さがみはら介護支援専門員の会		出席
14	松岡 一美	一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会		出席
15	廣瀬 憲一	公益社団法人相模原市病院協会		出席
16	松岡 義人	相模原市小規模多機能型居宅介護事業者連絡会		欠席
17	水上 潤哉	一般社団法人相模原市医師会		出席
18	荒川 雅子	一般社団法人相模原市医師会（訪問看護ステーション）		出席